

国際自動車ニュース

Daily International Automotive Affairs

株式会社 国際自動車ニュース 〒220-0005 横浜市西区南幸2 9 19松本ビル6F
TEL:045-489-4512 E-mail:info@auto-affairs.com

Top Story

9月の米新車 23%減、年率 922 万台

Production

- 【タイ 生産】日産のグローバル新小型車、来年3月タイに投入 3
- 【米国 生産】エコモーターズ、旧GM工場でのエンジン製造で公的支援要請 .3
- 【ロシア 生産】三菱ふそうトラック・バス、商用車カマズと合併設立..4
- 【中国 生産】奇瑞汽車が大連に生産工場、地元の安徽省以外で初.....4

Marketing

- 【米国 販売】GM「サターン」閉鎖へ、ペンスキー買収断念で 5
- 【米国 販売】トヨタとフォードの米販売、15年までにGM超える = IHS調査 5
- 【米国 販売】GMイーベイでのネット販売を終了、消費者の反応いまいち 5
- 【イタリア 販売】イタリアの9月新車販売、6.8%増の19万台 6
- 【スペイン 販売】スペインの9月新車販売、18%増の7.7万台 6
- 【中国 販売】1～8月商用車販売、北汽福田がトップ 6
- 【中国 販売】現代・起亜自のシェア、1～8月は9.8%に上昇 7
- 【インド 販売】9月の新車販売、最大手マルチは17%増 7
- 【タイ 販売】8月のバイク販売、15%減の12万1000台 7
- 【マレーシア 販売】プロトンの英販売、通年目標を達成 7

Policy

- 【フランス 政策】仏政府がEV振興策を発表、総額25億ユーロ .. 8
- 【中国 政策】改正「保険法」施行、中古車の保険掛け金が低下 8

Others

- 【米国 その他】9月の米企業人員削減13%減、自動車業界は4月以来最大 .8
- 【中国 その他】上海で車部品の国際見本市、来年3月開催 9
- 【シンガポール その他】NUSがシェルマラソンで入賞、MSCの分析ツール利用 9

【米国 販売】

9月の米新車 23%減、年率922万台

GM 45%減、韓国勢の好調続く

米調査会社オートデータが1日発表した9月の米国内の新車販売台数(乗用車、小型トラックの速報値)は前年同月比22.7%減の74万5997台となり、同1%増の126万1977台と2009年の最高を記録した前月を大きく下回った。年率換算(季節調整済み)では922万台と3カ月ぶりに1000万の大台を割り込み、今年に入って最低に落ち込んだ。地元各紙が伝えた。

8月は総額30億米ドルを投じた新車買い換え支援策、カー・アローワンス・リベート・システム(CARS)が追い風となり新車販売が急伸したが、8月末の同政策の終了とともに市場が今年前半の状態に戻った形だ。

市場調査会社JDパワーは先月24日、9月の米新車販売を前年同月比29%減の71万台と予測。エドマンズ・ドットコムも同22.9%減の74万2000台としており、市場は今回の低迷を織り込み済みだった。

■GM 45%減、韓国勢の好調続く

メーカー別では、市場1位のゼネラル・モーターズ(GM)が前年同月比45%減の15万5679台と大きく減少。2位のトヨタは同12.6%減の12万6015台、3位のフォード・モーターは同5.1%減の11万4241台だった。4位はホンダで同20.1%減の7万7229台、5位のクライスラーは同42.1%減の6万2197台と大きく減少している。日産自動車は同7.0%減の5万5393台で6位だった。

前年比で増加を示したのは、現代自動車と起亜自動車、BMW、スバル、ボルシェ、フェラーリ。特に現代自は同27.2%増の3万1511台で、フォルクスワーゲン(VW)の2万4722台を上回って7位。起亜自も同24.4%増の2万1623台と、引き続き韓国勢の好調が際だっている。

■後半は回復傾向

新車買い換え支援策CARS、通称キャッシュ・フォー・クランカーズを通じ、7~8月で約70万台が販売された。

9月の米新車販売台数(メーカー別上位20社)

順位	メーカー名	2009年9月	2008年9月	増減率
1	GM	155,679	282,806	-45.0
2	トヨタ	126,015	144,260	-12.6
3	フォード	114,241	120,355	-5.1
4	ホンダ	77,229	96,626	-20.1
5	クライスラー	62,197	107,349	-42.1
6	日産	55,393	59,565	-7.0
7	現代自動車	31,511	24,765	27.2
8	フォルクスワーゲン	24,756	24,937	-0.7
9	起亜	21,623	17,383	24.4
10	BMW	19,201	18,525	3.6
11	ダイムラー	17,809	20,570	-13.4
12	スバル	14,593	14,491	0.7
13	マツダ	14,234	16,169	-12.0
14	三菱自動車	4,712	7,378	-36.1
15	ジャガー・ランドローバー	3,106	3,591	-13.5
16	スズキ	1,861	4,083	-54.4
17	ボルシェ	1,581	1,458	8.4
18	フェラーリ	160	105	52.4
19	マセラティ	130	199	-34.7
20	いすゞ	0	258	-100.0

出所:オートデータ

記事の無断転載・複製・転送を禁じます

業界では同政策が需要の先食いにと終わるとの見方もあったが、CARSの利用者の多くは通常、新車は買わずに中古車を買換える層だと見る向きも多い。9月の低迷は7~8月の好調によって在庫が減少し、消費者の選択の幅が狭まったことも影響しているもようだ。

アナリストらは今年後半から来年にかけて市場が回復基調にあるとの見方を維持している。

Production

【タイ 生産】

日産のグローバル新小型車、来年3月タイに投入

日産自動車は1日、グローバル市場向け新型コンパクトカーのスケッチを公開した。同モデルは2010年3月にタイで発売され、その後150カ国以上の市場で販売される。

タイ現地子会社のタイ日産自動車は同日、同モデルがタイ政府のエコカー政策に適合する最初のモデルとなることを発表した。

タイ政府は、小型の低燃費車「エコカー」の国内生産と販売を促進する政策を打ち出しており、エコカー用の部品・原材料の輸入に低関税を適用することを決めている。



日産自の世界戦略車のイメージ。
来年3月にタイ市場に投入する

【米国 生産】

エコモーターズ、旧GM工場でのエンジン製造で公的支援要請

米ミシガン州デトロイト近郊トロイを本拠地とする新興部品会社エコモーターズ(EcoMotors)が、同州リボニアの旧ゼネラル・モーターズ(GM)工場でエンジン製造を開始するための資金として、2億米ドル(約180億円)の融資を米エネルギー省(DOE)に求めている。地元紙デトロイト・ニュースが伝えた。

エコモーターズは、低燃費のエンジン開発費として2080万米ドル(約19億円)の融資を申請していたが、今年8月に却下されていた。

今年7月に提出した2回目の申請では2億700万米ドル(約186億円)の融資を申請。GMの旧工場を刷新し、ディーゼルとガソリン、エタノール、水素などが使用できるフレックスエンジンの年10万基の製造を目指すとしている。2016年までに生産量を年30万基に引き上げる計画。

エコモーターズは、1回目の申請が却下された後に、ロビー活動を活発化。同社の依頼を受けたカリフォルニア州拠点のロビー会社、タウンゼント・パブリック・アフェアーズ(TPA)は、ミシガン州議会に対し、2回目の申請が認められるようDOEに働き掛けることを要請している。

■フィスカーへの融資を非難

同社はまた、先月22日にDOEが認可した米フィスカー・オートモーティブに対する5億3000万米ドル(約500億円)の低利融資に反発している。同融資は、先端技術自動車製造(ATVM)融資プログラムに基づき、DOEが条件付きで資金を供与するもの。フィスカーはこの資金を元にプラグイン・ハイブリッド車(PHEV)「カルマ」の生産ラインを整えることになる。TPAは「カルマのデザインすら完成していないフィスカーが、どのような融資審査をクリアして資金を得たのか理解に苦しむ」とし、アル・ゴア元副大統領や米投資ファンド、クレイナー・パークンス(KPCB)をバックに持つフィスカーへの融資は公平さを欠くと批判している。

米政府は、07年末に成立した新エネルギー法に基づき、総額250億米ドル(約2兆4000億円)の予算を計上。環境対応車の生産に対して低利融資を行っている。これまでに、フォード・モーターに59億米ドル(約5625億円)、日産自動車に16億米ドル(約1525億円)、独ダイムラーが出資する米テスラ・モーターズに4億6500万米ドル(約445億円)の融資が決定されたが、GMの103億米ドル(約9260億円)、クライスラーの60億米ドル(約5394億円)の申請は却下されている。

【ロシア 生産】

三菱ふそうトラック・バス、商用車カマズと合併設立

三菱ふそうトラック・バスとロシアの商用車最大手カマズ(Kamaz)は、ロシア市場向けに三菱ふそう製のトラックを生産・販売する合併事業を設立する。すでに7月に合併設立に向けた覚書に調印。10月下旬に最終交渉が完了する予定という。

合併会社の社名は「FUSO KAMAZ Trucks Rus(ふそうカマズ・トラックロシア)」とし、三菱ふそうブランドの小型トラック「キャンター」の生産、販売を行う。トラックはノックダウン生産により、現地で組み立てられる。年内に生産を開始する予定で、今後、部品・コンポーネント類の現地調達化を進めていく。

生産は、ロシアのタタールスタン共和国、ナベレジヌイエ・チェルヌイ(Naberezhnye Chelny)にあるカマズの工場で行い、合併会社の販売部門と管理部門は、同共和国カザン(Kazan)を拠点とする。

同合併事業は、2008年12月にダイムラー・トラック部門が結んだカマズ、ロシア技術公社、トロイカダイアログ投資銀行との戦略的な提携関係が基盤。この提携でダイムラー・トラック部門はカマズの株式10%を取得している。同部門責任者のアンドレアス・レンシュラー取締役は「この合併事業は、当社のロシアにおけるトラックビジネスと成長戦略にとって重要な1歩となる」と述べている。

三菱ふそうのアルバート・キルヒマン社長兼最高経営責任者(CEO)は、「この合意によって、カマズと三菱ふそう両者の強みを生かすことができる」と説明。「カマズはロシアのマーケットリーダーであり、当社はアジアでのプレゼンスがある。カマズの持つ市場のノウハウや事業能力と、当社の競争力ある製品との組合せは、非常に力強い有望なスタートラインになる」と述べた。

■ダイムラーも覚書に調印

合併事業計画に加え、ダイムラー・トラック部門のメルセデスベンツ・トラックが、カマズとの覚書に調印した。「メルセデスベンツ」ブランドのトラックをカマズと合同で生産し、メルセデスベンツ・トラック、メルセデスベンツ・バス、ゼトラ・バスの販売・マーケティング活動を行う組織の設立などが盛り込まれている。

【中国 生産】

奇瑞汽車が大連に生産工場、地元の安徽省以外で初

9月30日付第一財經日報によると、中国の自主ブランドメーカー、奇瑞汽車はこのほど、遼寧省大連市で乗用車生産工場の建設を開始した。安徽省に本社を置く同社が省外に生産拠点を設けるのはこれが初めて。新工場への投資額は47億元(約619億円)。生産開始は2011年6月の予定で、年産規模は20万台となる。

同社は1997年の設立以来、海外には11カ所の組立工場を設けてきたものの、中国国内では地元の安徽省蕪湖市にしか生産基地を持っておらず、販売増には既存工場での生産能力拡大で対応してきた。同社は現在、外資と提携しない自主ブランド車メーカーとしては国内最大のシェアがあり、今年8月の販売台数は前年同月比97%増の4万147台。1～8月の累計では28万6147台で、早くも前年の通年実績に近付いている。

同社の金弋波総補佐は、「わが社はいよいよ、全国的な企業になる」と述べ、今後の事業拡大に自信を示した。(東亜通信)

Marketing

【米国 販売】

GM「サターン」閉鎖へ、ペンスキー買収断念で

米ゼネラル・モーターズ(GM)は先月30日、「サターン」ブランド売却で暫定合意していた米ディーラー大手ペンスキー・オートモーティブ・グループが同ブランドの買収を断念したことを受け、同ブランドを廃止する方針を明らかにした。これにより約350カ所のディーラーが閉鎖され、1万3000人が職を失う。ロイター通信が伝えた。

両社は週内にも正式合意に達するとみられていた。ペンスキーは、GMへの生産委託期間終了後の委託先をめぐり、仏ルノーと交渉を行っていたが、これが決裂したため、サターン買収を断念した。

GMは2010年10月までにサターンを閉鎖する。同社はミシガン州とメキシコのサターン工場ですぐに生産停止に取り掛かると表明。10月半ばに予定していたカンザス工場でのセダン生産再開もすでに中止している。

【米国 販売】

トヨタとフォードの米販売、15年までにGM超える＝IHS調査

米自動車業界の調査会社IHSグローバル・インサイトによると、自動車販売が2000年の水準に戻ると予想される15年までに、トヨタとフォード・モーターの米国内販売台数がゼネラル・モーターズ(GM)を上回る可能性が高いという。ロイター通信が伝えた。

クライスラーについては、今後市場が回復するにつれシェアを失い、15年までに販売台数はシェアを拡大している現代自動車とほぼ同水準になるとの予想を示した。

IHSのアナリストのマグリアノ氏は「GMとクライスラーから、トヨタ、フォードなどほかのメーカーへのシフトはかなりの規模になる」と述べた。

■ 15年には2000年の水準に回復

また、米国の自動車販売は、15年までには2000年と同水準の1730万台に回復すると予想。09年の販売台数は1000万台を上回り、10年は1110万～1150万台になると予想している。

IHSによると、15年の販売台数は、トヨタがトップで約300万台(シェア約17%)、次いでフォードとGMが250万～300万台の間になる見通し。クライスラーは約125万台、シェア7.2%で、08年の11%からシェアが低下し、販売台数は現代自動車とほぼ同水準になる見通し。

【米国 販売】

GMイーベイでのネット販売を終了、消費者の反応いまいち

米ゼネラル・モーターズ(GM)が、米オンラインオークション大手eBay(イーベイ)内の自動車売買専用サイト「イーベイ・モーターズ」内に開設していた新車販売サイトを終了した。販売期間は8月11日～9月30日までで、消費者の反応がよければ期間再更新の可能性もあったが、販売終了となった。地元各紙が伝えた。

同サイトには、カリフォルニア州内の「シボレー」と「GMC」、「ビュイック」、「キャデラック」などGMブランドを扱うディーラー225店舗以上が参加し、2008～10年モデルの2万台に上る新車が登録されていた。イーベイによれば販売期間中に150万件のアクセスを記録したというが、販売台数は明らかにされていない。

同オンライン販売システムでは、消費者は各ディーラーと価格交渉ができ、支払いもオンライン記事の無断転載・複製・転送を禁じます

ンで決済可能。「今すぐ購入」のボタンをクリックすると、買値を提示することができた。だが、自動車のような高額商品では、消費者はディーラーに自ら出向き、納得した上で買う傾向にあるため、消費者の反応は当初の期待を下回ったもよう。

イーベイとGMは当初、「米国人は新車を購入する際、75%以上がインターネットを利用し調べをする」という調査結果に基づき、オンライン販売の効果を指摘していた。だが、米調査会社エドマンズ・ドットコムは一貫してこの手法に否定的な見方を表明。「今すぐ購入」ボタンを利用する割合は非常に少ないというデータが出ていることから、今回の実験的販売は「失敗だった」としている。

【イタリア 販売】

イタリアの9月新車販売、6.8%増の19万台

イタリア政府の運輸省が1日発表した9月の新車販売台数は前年同月比6.8%増の18万9476台だった。

ロイター通信の計算によると、最大手フィアットはグループで計5万9723台を販売。シェア31.5%を占めた。前年同月の30.8%よりわずかに上昇した。ただし、今年8月の33.7%よりは低下している。

イタリア政府は今年2月、製造後10年以上たった車両を環境負荷の小さい新車に買い換えた場合に1500ユーロ(約19万7000円)の補助金を支給する政策を発表。12億ユーロ(約1575億6000万円)の予算を計上していた。ベルルスコーニ首相は先ごろ、フィアットの要請を受け入れる方向で、買い替え支援策の継続を検討する方針を打ち出した。

【スペイン 販売】

スペインの9月新車販売、18%増の7.7万台

スペイン自動車工業会(ANFAC)が1日発表した9月の新車販売台数は前年同月比18%増の7万7374台だった。政府の買い替え促進策の効果が持続した格好だ。ロイター通信が伝えた。

ただ、昨年9月は対2007年比で32%の大幅減を記録しているため、09年9月の販売実績は18%しか戻していないことになる。

スペイン政府は今年5月、新車購入者に対し2000ユーロ(約26万円)の補助金を支給する制度を導入していた。

【中国 販売】

1~8月商用車販売、北汽福田がトップ

中国自動車工業協会はこのほど、1~8月の商用車販売台数について企業別の上位10社を発表した。首位は北京汽車傘下の北汽福田で38万4100台、2位は東風汽車の27万3700台、3位は第一汽車の18万900台だった。東風汽車と第一汽車は前年同期比でやや台数を減らした。

4位以下は江淮汽車の13万台、重慶長安の10万5800台、金杯の10万4300台、中国重汽の8万7000台、江鈴汽車の6万9400台、凱馬汽車の6万7100台、上汽通用五菱の6万900台。うち重慶長安と凱馬汽車、上汽通用五菱は大きく伸びた。上位10社の販売が商用車販売全体に占める割合は70%だった。(東亜通信)

【PR】

国際自動車ニュースの有料購読は2アドレス配信です。

【中国 販売】

現代・起亜自のシェア、1～8月は9.8%に上昇

現代・起亜自動車グループの中国市場でのシェアが伸びている。2009年1～8月の販売台数は35万1529台で、新車市場に占めるシェア率は9.8%に上っている。毎日経済新聞が伝えた。

同グループの08年の販売台数は19万7320台で、シェア率は8.2%だった。販売台数で15万4209台、シェア率1.6%を上積みしていることになる。

現代自と北京汽車の合併、北京現代の1～8月のシェア率は前年同期の5.5%から7.1%、東風悦達起亜汽車(Dongfeng Yueda Kia Automobile Company)のシェアは2.6%から2.7%にそれぞれ上昇している。

一方で、トヨタとホンダ、日産自動車をお合わせた1～8月のシェア率は前年同期の28.2%から24.2%に低下。フォルクスワーゲン(VW)とシトロエンのシェアも23.3%から21.5%に下がっているという。

【インド 販売】

9月の新車販売、最大手マルチは17%増

インドの自動車メーカーの9月の販売台数が相次いで発表された。最大手マルチ・スズキは前年同月比17.3%増となる8万3306台。タタ・モーターズは同5.8%増の5万2513台だった。

国内販売はマルチが同10.7%増の7万1594台。タタが同10%増の4万9650台だった。輸出は、マルチ・スズキが同85.4%増の1万1712台と急伸。タタは同35.1%減の2863台に落ち込んでいる。

このほか、米ゼネラル・モーターズ(GM)が同48.5%増の7654台と好調。小型車「スパーク」が4706台と導入以来、最大の売り上げを記録した。

【タイ 販売】

8月のバイク販売、15%減の12万1000台

ホンダがまとめた8月のタイ国内のバイク販売台数は前年同月比15%減の12万1349台だった。前月比でも13%減となった。

メーカー別ではホンダが1位で前年同月比18%減の7万9050台(シェア率65%)。2位はヤマハで同4%減の3万5204台(同29%)。3位はスズキで同41%減の4503台(同4%)。4位はカワサキで同22%増の1113台(同1%)だった。

1～8月の販売台数は前年同期比14%減の100万8889台だった。

【マレーシア 販売】

プロトンの英販売、通年目標を達成

国民車メーカー、プロトンの英国での販売台数が通年目標の1000台を10%上回った。国営ベルナマ通信が伝えた。

同社は現在、「Gen 2」、「ペルソナ(Persona)」、「サトリア(Satria)」、「サビー(Savvy)」の小型車4車種を英国市場に投入。サビーの売り上げが全体の約40%を占めている。同社は1989年に英国販売を開始し、累計販売台数は約15万台に上る。

プロトン・カーズ(UK)のコリアー社長は、低迷する英国市場で素晴らしい成果を上げることができたと主張している。同社長によれば、2009年の英新車販売は07年実績の240万台から170万台に落ち込む見通しという。

英国ではGen2とペルソナの液化天然ガス(LPG)対応車も導入しており、昨年は150台を販売。今年は200台を目標にしているという。

Policy

【フランス 政策】

仏政府がEV振興策を発表、総額25億ユーロ

フランス政府のエネルギー省は1日、電気自動車(EV)振興策を発表した。今後10年以上の間に総額25億ユーロ(約3300億円)を投じる。ロイター通信が伝えた。

主な用途は送電網や充電設備の整備で、2020年までに一般家庭や事業所など全国400万カ所以上での設置を見込むほか、公道や駐車場など全国7万5000カ所の公共施設にも整備する。

購入補助や完成車メーカー、電池メーカーなどへの補助金も交付する。さらに2010年中に中央政府と地方自治体、公共企業などで計5万台のEVを調達する。その後の数年でも5万台を追加で購入する見通しだ。

エネルギー省は2020年には新車販売に占めるEVの割合を16%、2025年には同27%まで伸びると予測。ボルロー・エネルギー相は「ある企業が単独で実現するにはリスクが大き過ぎるかもしれないが、政府と企業、市民などがすべて同時に協力して取り組めば、リスクはなくなる」と述べ、EV振興策の意義を強調した。

フランスでは、2大メーカーのルノーが航続距離160キロメートルのEV「フルエンス」、PSAプジョー・シトロエンが三菱自動車の「iMiev(アイミーブ)」をベースとした航続距離130キロメートルの「i0n(イオン)」を投入する予定だ。

【中国 政策】

改正「保険法」施行、中古車の保険掛け金が低下

中国で10月1日、改正「保険法」が施行された。損害保険の掛け金は対象物の価格を上回ってはならないとの規定があるため、中古自動車を購入した場合の車両保険の掛け金が安くなると期待されている。先月30日付広州日報が伝えた。

従来、車両保険では中古車を購入した場合でも新車相当の掛け金を払わなければならないケースがあり問題になっていたが、今後は違法となり規制される。

同紙は、4万元(約52万5000円)で購入した中古車に12万元(約157万円)の新車相当の掛け金を払わなければならなかった男性の例を紹介。この男性は事故を起こして自動車を修理に出した際、最終的に修理代が4万5000元(約58万9000円)掛かったにもかかわらず、保険金は購入額と同じ4万元しか下りなかったという。(東亜通信)

Others

【米国 その他】

9月の米企業人員削減13%減、自動車業界は4月以来最大

雇用コンサルティング会社チャレンジャー・グレイ・アンド・クリスマスが1日発表した9月の米企業の人員削減数は前月比13%減の6万6404人、前年同月比では30%減となり、労働市場の改善を示す新たな兆候となった。セクター別の人員削減数では、自動車業界が2万2114人と4月以来の最大を記録した。ロイター通信が伝えた。

7～9月の人員削減数は24万233人と、08年第1四半期以来の低水準となった。前年同期比は4四半期連続で減少している。

削減ペースは鈍化したものの、09年1～9月の人員削減数は114万人となり、前年同期の76万3090人を大幅に上回った。

チャレンジャーのリック・コブ副社長は「人員削減数の減少傾向が、雇用主が今後の業況について一段と楽観的になっていることを示す兆候であることは確かだ。この信頼感の改善が雇用創出につながるにはしばらくかかる可能性があるが、正しい方向に向かっている」と説明した。

連邦・地方政府は雇用を創出している数少ないセクターの1つだが、9月は7563人を削減し、1月からの削減総数は15万5602人となった。自動車や政府以外のセクターでは改善が見られた。

【中国 その他】

上海で車部品の国際見本市、来年3月開催

独ヴォルフスブルクで2年ごとに行われている自動車部品の国際見本市の中国版が、2010年3月23日から25日、上海市・安亭地区の上海国際汽車城で開催されることになった。名称は「上海OEM汽车零部件国際供應商博覧会」で、中国では初の開催となる。

9月30日付の解放日報によると、見本市の展示面積は3万平方メートル。メーカーではヴォルフスブルクに本社を置くフォルクスワーゲン(VW)のフォルクスワーゲン、アウディ、シュコダ、上海フォルクスワーゲンなどが参加する。(東亜通信)

【シンガポール その他】

NUSがシェルマラソンで入賞、MSCの分析ツール利用

米MSCソフトウェアはこのほど、同社が開発するエンジニアリング分析ツールを利用してシンガポール国立大学(NUS)が開発したエコカーが、省エネカーレースの「シェル・エコマラソン」で入賞したと発表した。

シェル・エコマラソンには37カ国から66チームが参加。水素燃料電池を搭載したNUSのエコカー「KRUCÉ」は完走した28チームのうち5位に入ったという。

レースを主導したNUSのギブソン准教授によれば、MSCのエンジニアリング分析ツール「Adams」は、ステアリングシステムの設計のために使用。KRUCÉの試作車の最小回転半径やステアリング角などを分析したという。NUSは今回の成功を生かし、来年マレーシアで開催されるアジア初のシェル・エコマラソンでもMSCの「Adams」を使用する計画だ。

【PR】

情報は共有すると価値が増える資産です。

ぜひ印刷の上、部署内でご回覧ください。

日刊の国際自動車業界紙として日本語では **世界初！！5月創刊**

国際自動車ニュース

Daily International Automotive Affairs

2週間の無料配信を受付中

編集方針 = Editor's Policy

- ・日本の大手マスコミには載らない海外の業界ニュースに注目します。
- ・月～金の日刊で1日に20本以上のニュースをお届けします。
- ・ビッグニュースの続報を重視します。
- ・各国の政策・規制・税制の変更に力点を置きます。

機能 = Function

紙面は電子メールにより、PDFファイルで配信します。

紙面は移動中でも読みやすく、周囲の目が気にならない**A4サイズ**です。ぜひ印刷の上、部署内でご回覧ください。

部署内で印刷を担当される方向けに、**配信先メールアドレスをもうひとつ無料で追加**できます。

合理的な価格 = Reasonable Price

3カ月契約は2万4,000円(月額8,000円) 年間購読は9万円(月額7,500円)となります。

週刊媒体やウェブサイトだけのサービスが月額2～3万円としているのに比べると**格段に割安**です。

2週間の無料試読は

当社ウェブサイト
<http://auto-affairs.com/> まで。

